

ロンドンの中・小規模 TERRACED HOUSE

研究ノート(5)

会津大学短期大学部

産業情報学科

時野谷 茂

ロンドンの中・小規模 TERRACED HOUSE

研究ノート(5)

時野谷 茂

平成24年1月10日受付

【要旨】 本稿はロンドンに一般にあり都市景観の主要な要素となっている TERRACED HOUSE について町並み構成パターンを中心に調査した結果について記すものである。今回は前回地区から離れ Hammer Smith 地区 (図-01) を対象とした。結果として48街路(家並としては103) 2331 住戸についてのデータを集め、分析を行なった。

これまでの地区との比較でこの地区の特徴を述べると家並構成単位については a, ab, b がほとんどを占め、今回新たに設けた g, gb が数パーセント見られる他、他の分類に属するものが見られなかった点である。また、デタッチド(独立住宅:分類としては g に該当)が初めて家並として記録できたことや今回新たにセミデタッチド用として(a)や(b)といった分類を設けなければならないほどセミデタッチド(2住戸の棟割長屋形式住宅)系が多く見られたのもこの地区の特徴である。

ひとつの家並に見られる建物の表面デザインの種類については1種類(19%)、2種類(18%)、3種類(20%)、4種類(15%)、5種類(7%)、6種類(5%)、7種類(5%)、8種類(3%)そして10種類(4%)、11種類(6%)とこれまでで最高の広がりが見られた。

全体構成については Fluham 地区では(ア)単一のパターンを連続させるもの(71%)、(ウ)家並を数区に分けそれぞれに別のパターンを並べるもの(通りによる分節無し)(21%)とこの2タイプで9割を占め Kensal Green 地区では(ア)(47%)、(ウ)(10%)と6割弱、Kilburn High Road 地区は(ア)(32%)、(ウ)(43%)と7割強、North Kensington 地区は(ア)(66%)、(ウ)(25%)と2つで9割強となり Fluham 地区に似た傾向を示している。(ア)(33%)、(ウ)(16%)と2つで5割弱となり、変わって(イ)(45%)が多くなっているのは他の地区に見られない大きな特徴である。

道路の両側の関係では各地区を代表するものは Fluham 地区では構成単位も異なり、関係性が薄い(4)や(4')が50%、Kensal Green 地区では同じ構成単位であるが並べ方には関係性が薄い(3)や(3')が48%、Kilburn High Road 地区ではある程度以上シンメトリーを感じる(0)や(0')が45%、North Kensington 地区は(4)や(4')が56%を占め(0)や(0')は4%であったが、今回も関係性が薄い(4)や(4')が70%とほとんどを占めた中、シンメトリーを感じる(0)や(0')が11%、類似性の強い(1)や(1')も11%あった。

1. はじめに

本稿はロンドンに一般にあり都市景観の主要な要素となっている TERRACED HOUSE について町並み構成パターンを中心に調査した結果について記すものである。これに類する研究は「ロンドンの中・小規模 TERRACED HOUSE 研究ノート(1), (2), (3), (4) (会津大学短期大学部研究年報第 54 号、同第 66 号、同第 67 号、同第 68 号) がある。今回は前回地区を南に下った HAMMER SMITH 地区(図-01) を対象とした。結果として 48 街路 (家並としては 103) 2331 住戸についてのデータを集集し分析を行なった。



図-01: 調査対象地区並びに周辺の現状

2. 調査方法と研究方法

調査方法は前回と同様に「ORDNANCE SURVEY MAPS, 25inches to the mile」の復刻版を用い、そこに描かれた建物の現在の様子を記録して回るというものである。はじめに地図に描かれた建物が現存するかをチェックすることからはじめ、次に建物自体の細部観察へと入る。そのために街路名称、住戸番地、玄関の形、壁の色、屋根の形等が記入できる調査用紙を作成し、地図を基に対象地区を歩き、各項目をチェックした後、できるだけ正面から各住戸の写真を撮り、それに基づいて概略立面図を作成し家並構成等を検討する。なお、一々立ち止まってカメラを向けると拒否反応を示す住人がいることと効率的に調査を進めるために、一部ビデオカメラを使用した。

研究方法も基本的には前回の方法を踏襲し、各住戸の接続の仕方、並べ方そして全体としての構成について研究をすすめた。そのためにこれまでと同様に「家並立面図」、「住戸ファサードリスト」、「街路両側におけるファサードデザイン関係図」と「家並分類一覧」を作成した。

また、立面図を描くに当たっては、ファサードデザインの特徴的なところを図示するよう心がけた。

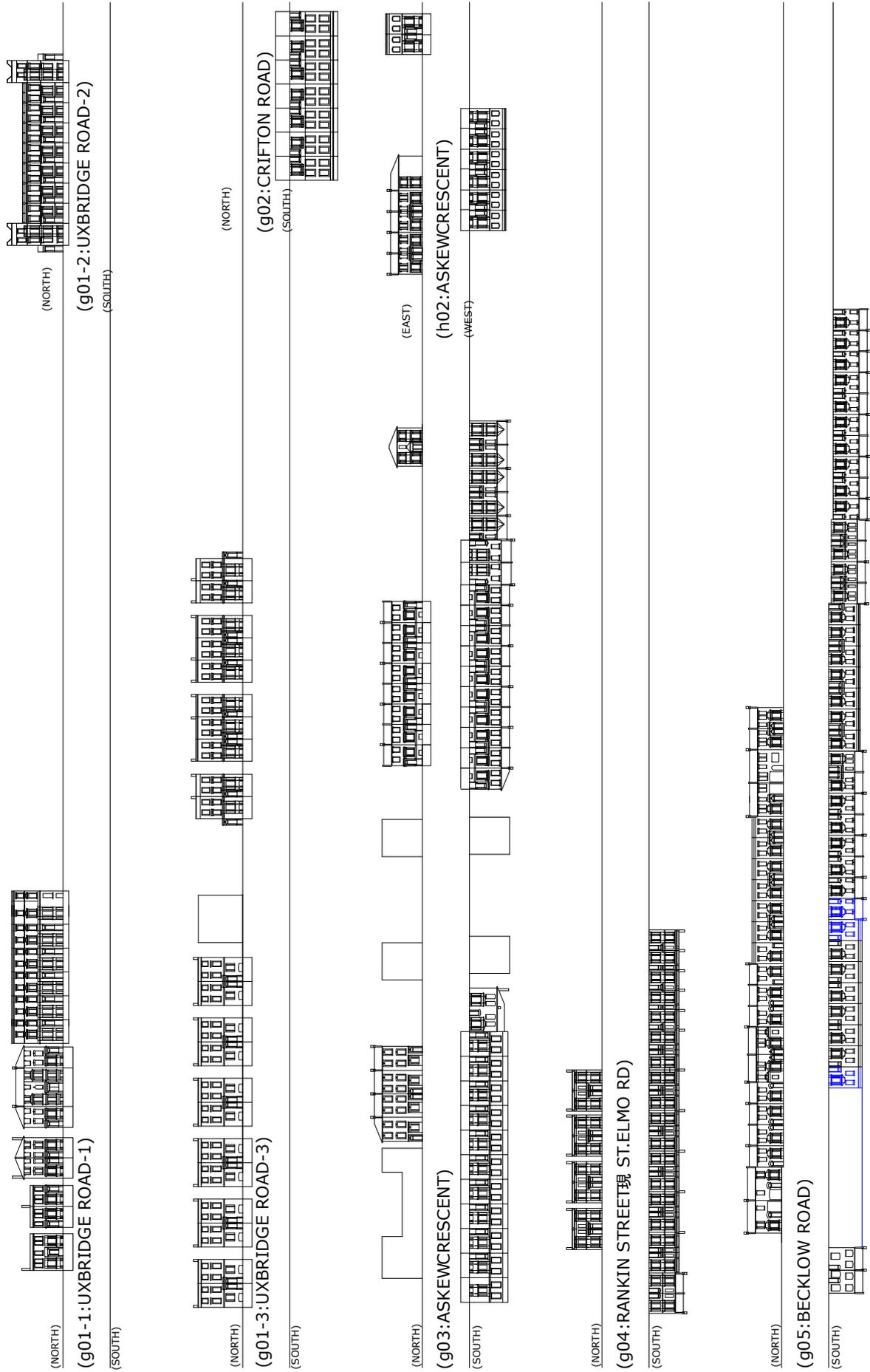


図-02：家並立面図_01

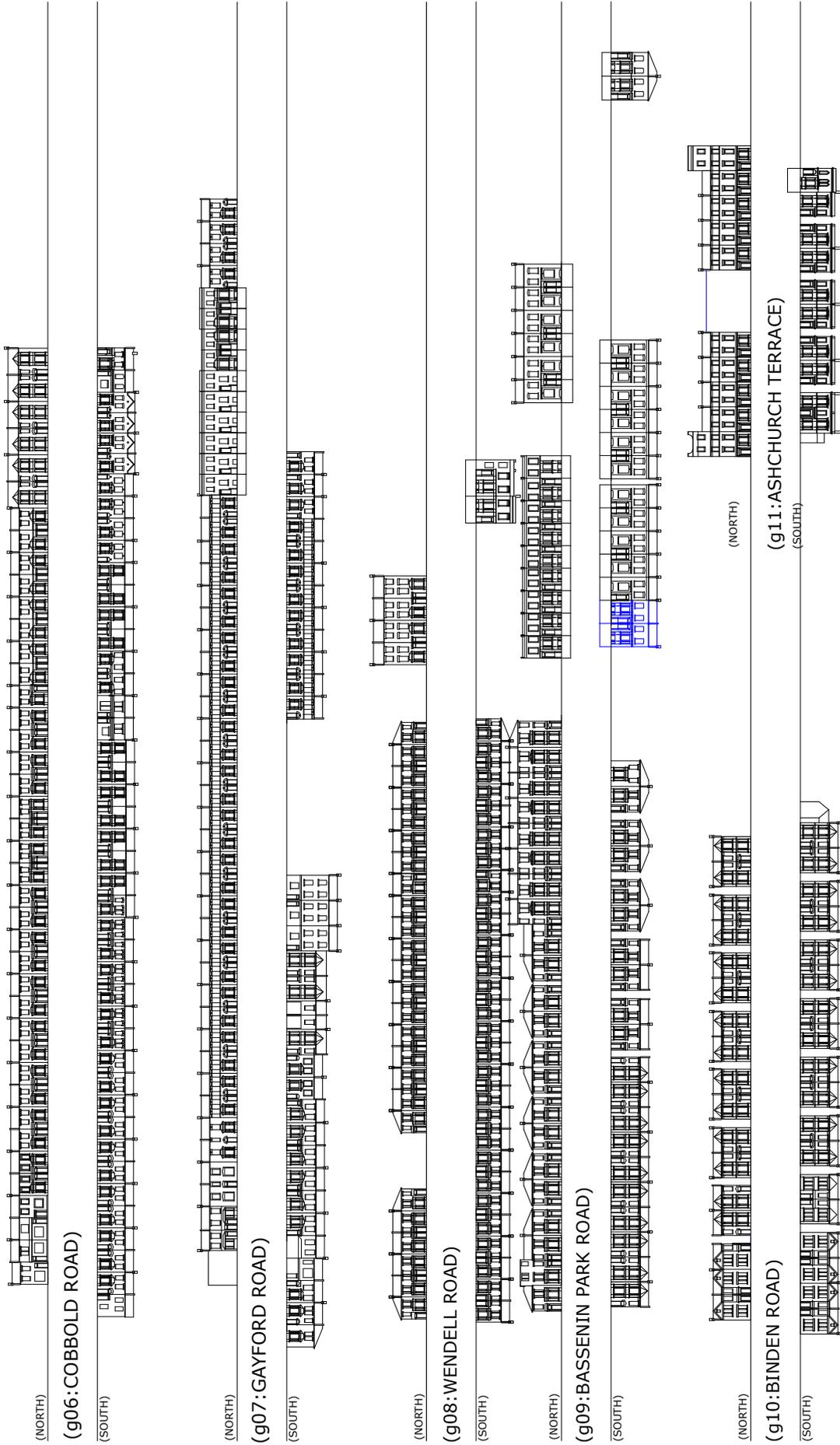


図-03：家並立面図_02

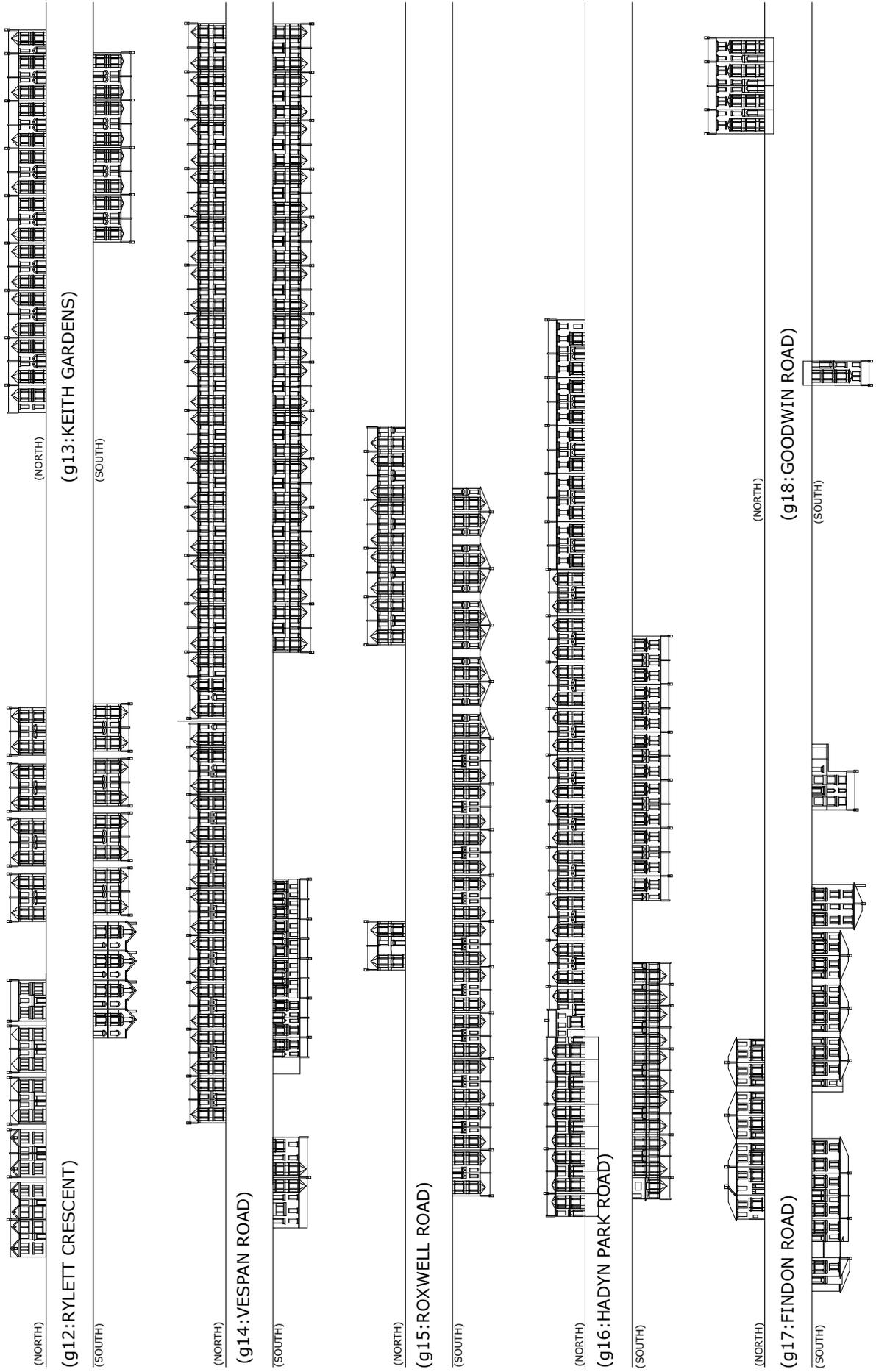


図-04：家並立面図_03

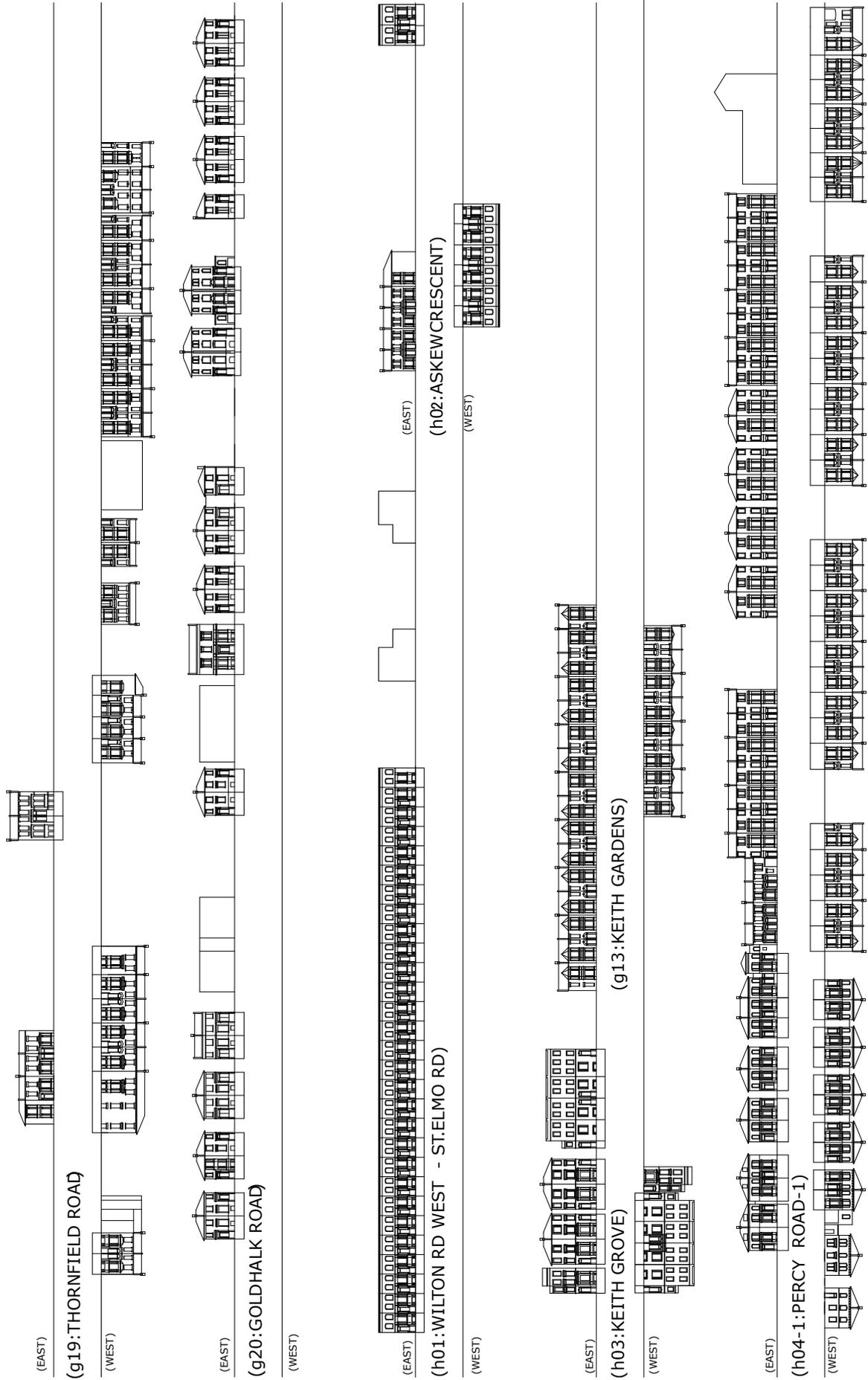


図-05：家並立面図_04

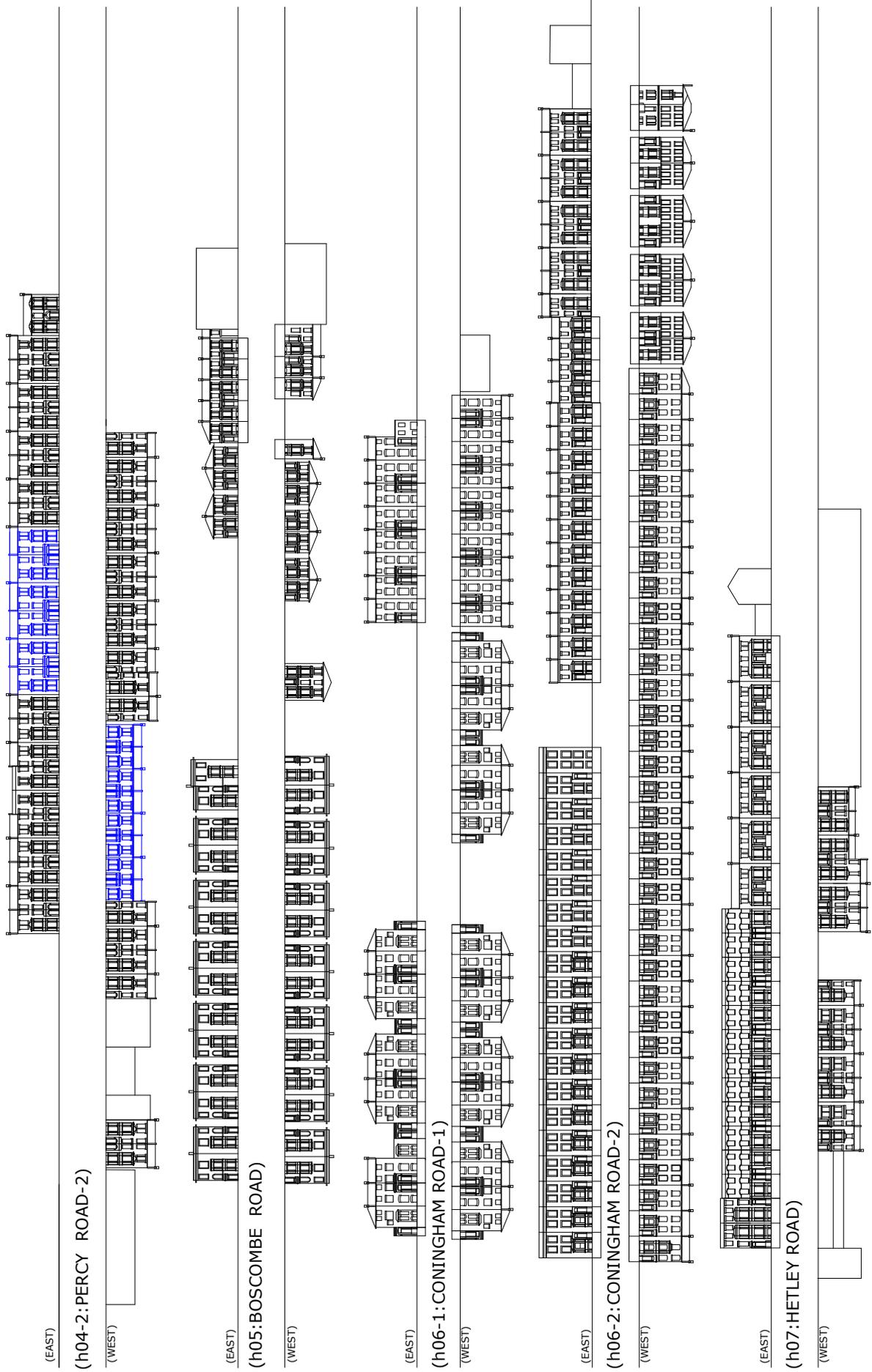


図-06：家並立面図_05

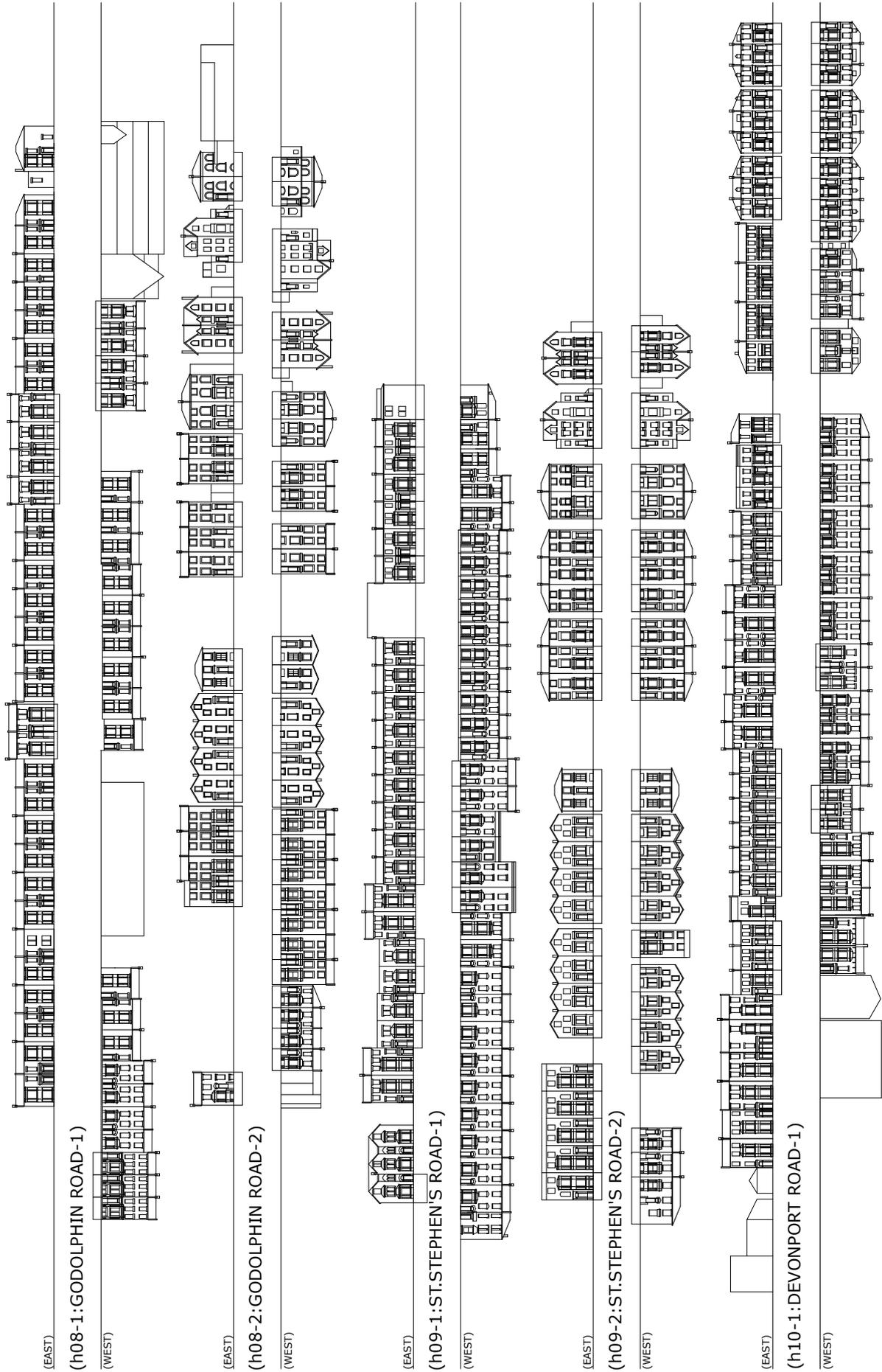


図-07：家並立面図_06

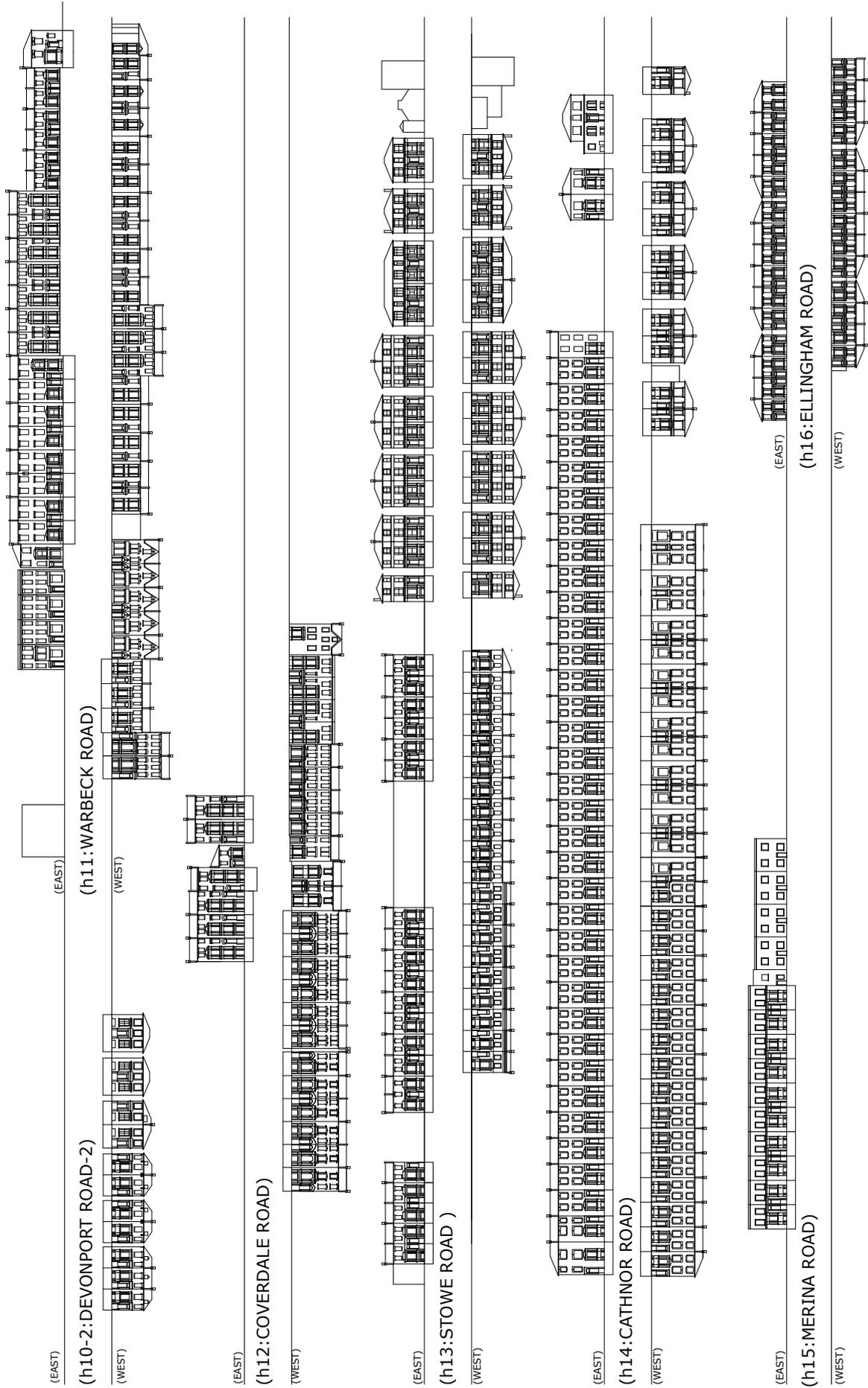


図-08：家並立面図_07

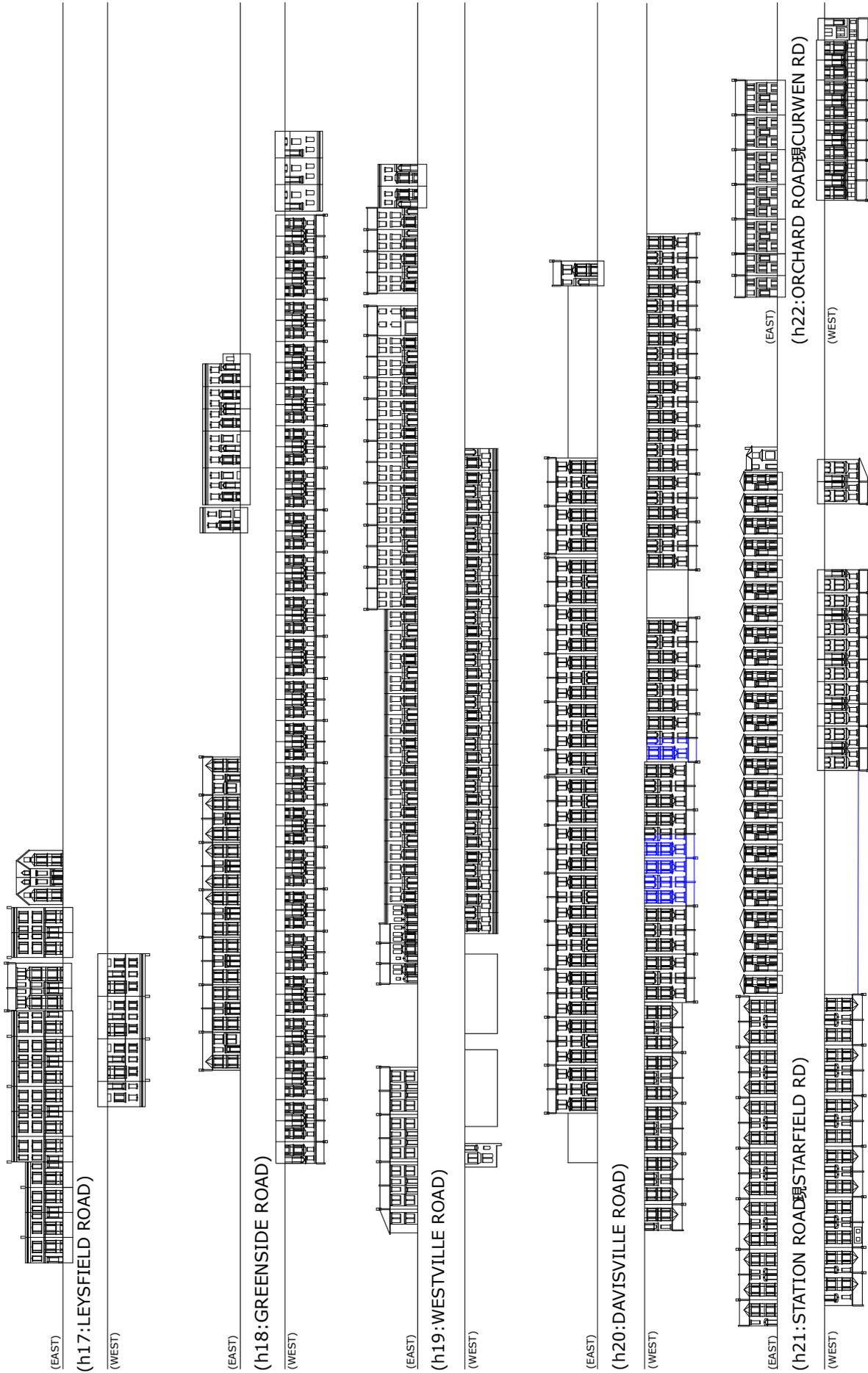


図-09：家並立面図_08

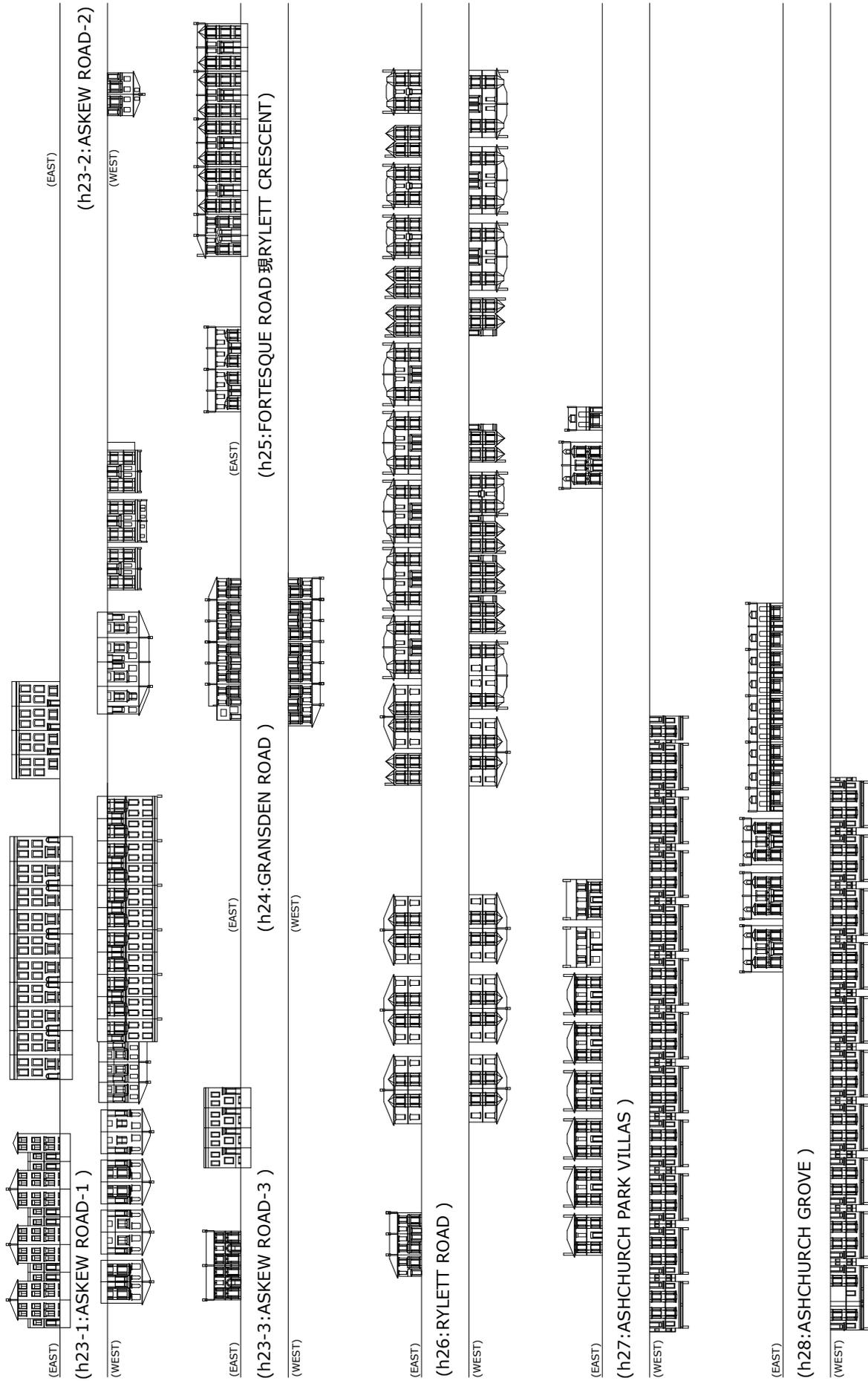


図-10：家並立面図_09

図-11：家並に用いられている立面型と種類数と街路両側の関係

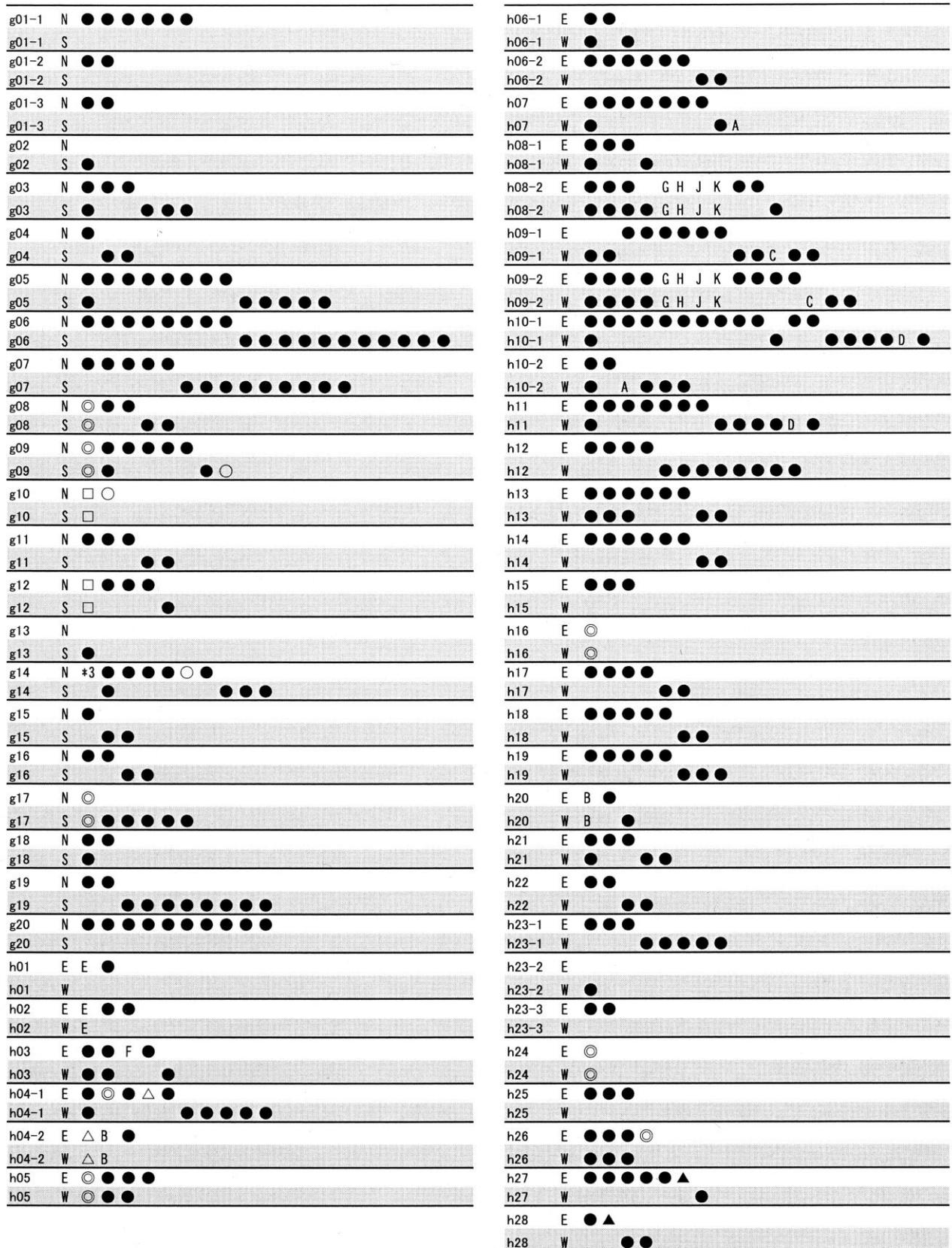
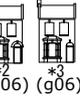
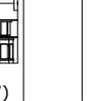
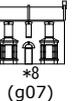
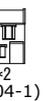
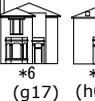


表 -01：住戸ファサードリスト _01

2階建 ベースメント無										
長方形の壁(傾斜屋根)										
記号	2NSS01	2NSS02	2NSS03	2NSS04	2NSS05	2NSS06	2NSS07	2NSS08	2NSS09	
基本形	 *1 (g06)	 *1 (g07)	 *1 (g07)	 *1 (g05)	 *1 (h19)	 *1 (g07)	 *1 (h04-1)(h05) (g08)(g09) (g17)(h16) (h24)(h26)	 *4 (h11)	 *1 (g05)	
デザイン的变化	 *2 (g06) *3 (g06) *4 (g06)	 *2 (g06)	 *2 (g05)(g06)	 *2 (g14)	 *2 (g05)	 *2 (g06) *3 (g06)		 *2 (g06)		
	 *5 (h02) *6 (g06) *7 (g19)		 *3 (g19)	 *3 (g16)	 *3 (g14)	 *4 (g07) *5 (g06)		 *3 (g05)		
	 *8 (g08)		 *4 (h25)	 *4 (g16)		 *6 (g07) *7 (g07)		 *5 (h23)		
端部での变化	 *9 (g17)	 *10 (g09)	 *1 (h27)	 *5 (g05)		 *8 (g07)	 *2 (h04-1)	 *6 (g17)	 *7 (h09-1)	 *2 (g03)

2階建 ベースメント無											
長方形の壁(傾斜屋根)											
記号	2NSS10	2NSS11	2NSS12	2NSS13	2NSS14	2NSS15	2NSS16	2NSS17	2NSS18	2NSS19	2NSS20
基本形	 *1 (g03)	 *1 (h10-1)	 *1 (g07)	 *1 (g12)	 *1 (g19)	 *1 (h20)	 *1 (h04-2)	 *1 (g13)	 *1 (h11)	 *1 (g15)	 *1 (g14)
デザイン的变化	 *2 (h04-1)			 *2 (h27)		 *2 (g14)	 *2 (h23-3)		 *2 (h08-1)	 *2 (g16)	
	 *3 (h04-1)			 *3 (h27)		 *3 (g15)			 *3 (g15)	 *3 (g10)(g12)	
									 *4 (h02)	 *4 (h21)	
端部での变化		 *2 (h10-1)				 *4 (g05)		 *2 (g13)	 *5 (h08-1)		

表-02：住戸ファサードリスト_02

2階建 ベースメント無											
長方形の壁(傾斜屋根)											
記号	2NSS21	2NSS22	2NSS23	2NSS24	2NSS25	2NSS26	2NSS27	2NSS28	2NSS29	2NSS30	2NSS31
基本形	 *1 (h18)	 *1 (h11)	 *1 (g07)	 *1 (g09)(g10) (g14)	 *1 (g16)	 *1 (g12)	 *1 (h26)	 *1 (h26)	 *1 (h27)	 *1 (g06)	 *1 (g06)
デザイン的変化	 *2 (g03)	 *2 (g06) *3 (h10)	 *4 (h07) *5 (g19)	 *3 (g14)	 *2 (h28)	 *3 (g12)	 *2 (h26)			 *2 (g06)	 *2 (g05)
端部での変化	 *3 (h11)	 *7 (h18)	 *2 (g14)								

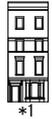
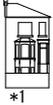
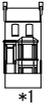
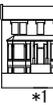
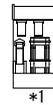
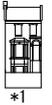
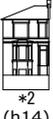
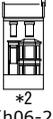
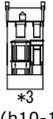
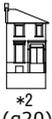
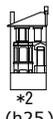
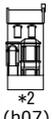
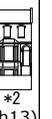
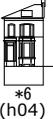
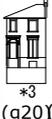
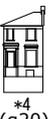
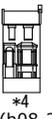
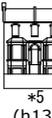
2階建 ベースメント無											
長方形の壁(パラペット)										凹凸のある壁 (dormerやlouanerを含む)	
記号	2NSS32	2NSS33	2NPS01	2NPS02	2NPS03	2NPS04	2NPS05	2NPS06	2NPS07	2NS101	2NS102
基本形	 *1 (h19)	 *1 (g07)	 *1 (g05)	 *1 (g05)	 *1 (h15)	 *1 (h19)	 *1 (h27)	 *1 (g04)	 *1 (h19)	 *1 (g06)	 *1 (h21)
デザイン的変化	 *2 (g06)			 *2 (g05)	 *2 (h15)	 *3 (h19)	 *3 (g11)	 *2 (g04)	 *3 (h23-1)		
端部での変化	 *4 (g05)					 *4 (g11)	 *4 (g04)				

表-03：住戸ファサードリスト_03

		3階建 ベースメント無									
		凹凸のある壁 <small>(dome+ lucanerを含む)</small>		長方形の壁(傾斜屋根)							
記号	2NS103	2NS104	3NSS01	3NSS02	3NSS03	3NSS04	3NSS05	3NSS06	3NSS07	3NSS08	3NSS09
基本形	 *1 (h27)(h28)	 *1 (g12)	 *1 (h12)	 *1 (h12)	 *1 (g03)	 *1 (g11)	 *1 (h08-1)	 *1 (h19)	 *1 (g19)	 *1 (h04-1&2)	 *1 (h07)(h10-2)
デザイン的变化			 *2 (g17)	 *2 (h10-1)			 *2 (g08)			 *2 (g19)	 *3 (h12)
							 *3 (g07)			 *4 (h06-2)	 *5 (h11)
										 *6 (h10-1)	 *7 (h10-1)
端部での变化			 *3 (g17)	 *4 (g17)			 *4 (h09-1)				

		3階建 ベースメント無									
		長方形の壁(傾斜屋根)				長方形の壁(パラペット型)					
記号	3NSS10	3NSS11	3NSS12	4NSS01	3NPS01	3NPS02	3NPS03	3NPS04	3NPS05	3NPS06	3NPS07
基本形	 *1 (h11)	 *1 (h04-2)(h20)	 *1 (g09)	 *1 (g11)	 *1 (h11)	 *1 (h03)	 *1 (h23-1)	 *1 (h12)	 *1 (h11)	 *1 (h04)	 *1 (h05)
デザイン的变化	 *2 (h10-1)	 *2 (g19)									
	 *3 (g19)										
端部での变化	 *4 (h10-1)										

表 -04：住戸ファサードリスト _04

		2階建 ベースメント有										
		凹凸のある壁	長方形の壁(傾斜屋根)									
記号	4NPS01	3NS101	2BSS01	2BSS02	2BSS03	2BSS04	2BSS05	2BSS06	2BSS07			
基本形	 *1 (g11)	 *1 (h11)	 *1 (h14)	 *1 (h13)	 *1 (g20)	 *1 (h09-1)	 *1 (h07)	 *1 (h09-1)(h09-2)	 *1 (h18)			
デザイン的变化		 *1 (h12)	 *2 (h14)	 *2 (h06-2)	 *3 (h10-1)	 *4 (h13)	 *5 (h05)	 *2 (g20)	 *2 (h25)	 *3 (h10-1)	 *2 (h07)	 *2 (h13)
				 *6 (h04)	 *7 (h04)	 *8 (h06-2)	 *9 (h10-1)	 *3 (g20)	 *4 (h10-1)	 *5 (h10-1)	 *3 (g20)	 *3 (g20)
				 *10 (h10-1)	 *11 (h10-1)			 *4 (g20)		 *6 (h08-2)		 *4 (h08-2)
端部での变化				 *12 (h13)	 *13 (h10-1)					 *7 (h09-2)		 *5 (h13)

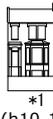
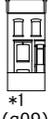
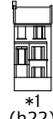
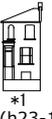
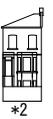
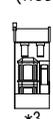
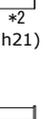
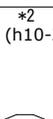
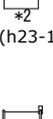
		2階建 ベースメント有									
		長方形の壁(傾斜屋根)									
記号	2BSS08	2BSS09	2BSS10	2BSS11	2BSS12	2BSS13	2BSS14	2BSS15	2BSS16	2BSS17	2BSS18
基本形	 *1 (h22)	 *1 (h10-1)	 *1 (g03)	 *1 (h09-1)	 *1 (h21)	 *1 (h05)	 *1 (h08-2)	 *1 (h10-2)	 *1 (g09)	 *1 (h22)	 *1 (h23-1)
デザイン的变化	 *2 (h22)	 *2 (h09-1)	 *2 (g19)	 *2 (g09)	 *2 (h21)			 *2 (h10-2)	 *2 (h23-1)	 *2 (h22)	
		 *3 (h13)		 *3 (h10-1)(h11)	 *3 (g19)			 *3 (h09-2)	 *3 (h22)		
端部での变化			 *3 (h11)								

表-05：住戸ファサードリスト_05

記号	2階建 ベースメント有										
	長方形の壁(傾斜屋根)								長方形の壁(パラペット型)		
	2BSS19	2BSS20	2BSS21	2BSS22	2BSS23	2BSS24	2BSS25	2BSS26	2BPS01	2BPS02	2BPS03
基本形	 *1 (h23-1)	 *1 (h14)	 *1 (g20)	 *1 (h10-1)	 *1 (h04-1)	 *1 (h25)	 *1 (h21)	 *1 (g20)	 *1 (g01)	 *1 (h18)	 *1 (h01)(h02)
デザイン的变化									 *2 (g01)	 *2 (h18)	 *2 (g08)
端部での变化					 *3 (h04-1)				 *3 (h09)	 *3 (h18)	 *3 (g08)
									 *4 (g07)	 *4 (h19)	 *4 (h15)
									 *5 (h07)	 *5 (g11)	 *5 (h01)

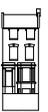
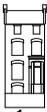
記号	3階建 ベースメント有										
				凹凸のある壁 <small>(domeや lucarneを含む)</small>		長方形の壁(傾斜屋根)					
	2BPS04	2BPS05	2BPS06	2BSI01	2BSI02	3BSS01	3BSS02		3BSS03	3BSS04	
基本形	 *1 (g01-2)	 *1 (h23)	 *1 (g07)	 *1 (h09)	 *1 (h17)	 *1 (h14)	 *1 (g01)		 *1 (h11)	 *1 (h06-1)	
デザイン的变化	 *2 (g09)(h10-1)	 *2 (h18)		 *2 (h08-2)		 *2 (h14)	 *2 (g01)	 *3 (h09-2)	 *4 (h08-2)	 *5 (h13)	 *2 (h08-2)
	 *4 (g03)	 *3 (h17)				 *3 (h06-2)	 *6 (h13)	 *7 (h09-2)		 *3 (h06)	
端部での变化	 *5 (h17)					 *4 (h14)					
	 *6 (h17)										

表 -06：住戸ファサードリスト_06

		3階建 ベースメント有									
		長方形の壁(傾斜屋根)									
記号	3BSS05	3BSS06	3BSS07	3BSS08	3BSS09	3BSS10	3BSS11	3BSS12	3BSS13	3BSS14	
基本形	 *1 (h14)	 *1 (h06-1)	 *1 (h03)(h05)	 *1 (h12)	 *1 (h12)	 *1 (h11)	 *1 (g20)	 *1 (g20)	 *1 (g18)	 *1 (h09-1)	
デザイン的变化	 *2 (h09-2)	 *2 (h07)				 *2 (h09-1)		 *2 (h23-1)	 *2 (h09-2)	 *2 (h12)	
	 *3 (h09-2)							 *3 (h06-2)	 *3 (g01)	 *3 (h17)	
端部での变化	 *4 (h14)			 *2 (h12)	 *2 (h12)						

		3階建 ベースメント有										
		長方形の壁(傾斜屋根)		長方形の壁(パラペット型)								
記号	3BSS15	3BSS16	3BPS01	3BPS02	3BPS04				3BPS05	3BPS06	3BPS07	3BPS08
基本形	 *1 (g18)	 *1 (h12)	 *1 (g01)	 *1 (h03)	 *1 (h06-2)				 *1 (h23-1)	 *1 (g01-3)	 *1 (h07)	 *1 (g01-1)
デザイン的变化				 *2 (h03)	 *2 (h09-2)	 *3 (g02)	 *4 (h07)	 *5 (h17)	 *2 (h09-1)		 *2 (g01-2)	
					 *6 (h23-1)(h06-2)	 *7 (h06-2)	 *8 (h03)	 *9 (h08-2)			 *3 (h09-2)	
端部での变化					 *10 (h06-2)							

表 -07：住戸ファサードリスト _07

凹凸のある壁(domerやlucanerを含む)										
記号	3BS101	3BS102	3BS103	3BS104						
基本形	 *1 (h09-2) (h08-2)	 *1 (h09-2) (h08-2)	 *1 (h09-2) (h08-2)	 *1 (h09-2) (h08-2)						

表 08-1：家並分類一覧

(N,S,E,W は街路から見た建物正面の方位)

街路名	方位	立面種類数 端部変形 全体	構成単位 型	家並型	住戸数	両側関係型	街路記号	掲載図面番号	住戸数	家並型	構成単位 型	立面種類数 端部変形 全体	方位
UXBRIDGE ROAD-1	N	1	6	a(a)b	イ	15	—	g01-1	図 01				
UXBRIDGE ROAD-2	N	0	2	a	力	9	—	g01-2	図 01				
UXBRIDGE ROAD-3	N	1	2	(b)(a)b	ア	22	—	g01-3	図 01				
CRIFTON ROAD							—	g02	図 01	7	ア	b	1 0 S
ASKEW CRESCENT	N	0	3	b	イ	13	4'	g03	図 01	29	イ	a	5 1 S
RANKIN STREET 現 ST.ELMO RD	N	3	1	(b)	ア	8	4	g04	図 01	19	ア	ba	3 0 S
BECKLOW ROAD	N	0	7	b	ウ	22	4	g05	図 01	39	ウ	b	6 0 S
COBBOLD ROAD	N	0	8	b	ウ	42	4	g06	図 02	44	ウ	b	11 0 S
GAYFORD ROAD	N	0	6	ba	ウ	46	4'	g07	図 02	30	ウ	b	11 0 S
WENDELL ROAD	N	0	4	b	イ	29	1'	g08	図 02	29	イ	b	2 1 S
BASSENIN PARK ROAD	N	0	4	ba(a)	イ	37	3'	g09	図 02	23	イ	b(a)	4 0 S
BINDEN ROAD	N	0	4	(b)	イ	17	1'	g10	図 02	18	イ	(b)	3 0 S
ASHCHURCH TERRACE	N	0	2	a	力	10	4	g11	図 02	9	ア	(a)	2 1 S
RYLETT CRESCENT	N	0	5	(b)	イ	17	4'	g12	図 03	12	イ	(b)a	2 0 S
KEITH GARDENS	N	0	1	b	ア	16	4	g13	図 03	8	ア	b	1 0 S
VESPAN ROAD	N	0	2	b	ア	45	4'	g14	図 03	38	イ	b	6 0 S
ROXWELL ROAD	N	0	1	b	ア	11	4	g15	図 03	29	イ	b(a)	2 0 S
HADYN PARK ROAD	N	1	4	b	ウ	38	4	g16	図 03	22	イ	b	2 1 S
FINDON ROAD	N	1	1	(a)	ア	7	4'	g17	図 03	14	イ	(a)	3 2 S
GOODWIN ROAD	N	0	1	b	ア	4	4	g18	図 03	1	ア	g	1 0 S
THORNFIELD ROAD	N	0	3	b	イ	6	4	g19	図 04	27	イ	b	10 0 S
GOLDHALK ROAD	N	0	10	(a)	イ	27	—	g20	図 04				

表 08-2：家並分類一覧

(N,S,E,W は街路から見た建物正面の方位)

街路名	方位	立面型		構成単位型	家並型	住戸数	両側関係型	街路記号	掲載図面番号	住戸数	家並型	構成単位型		立面型		方位	
		種類	数									種類	数	種類	数		
WILTON RD WEST - ST.ELMO RD	E	1	1	a	ア	29	—	h01	図 04								
ASKEW CRESCENT	E	0	3	b	ア	7	4'	h02	図 04	6	ア	b	1	0		W	
KEITH GROVE	E	1	3	a(a)	イ	9	4'	h03	図 04	5	イ	b	2	1		W	
PERCY ROAD-1	E	1	3	(a)b(b)	イ	39	4'	h04-1	図 04	44	イ	b(a)(b)	4	0		W	
PERCY ROAD-2	E	0	2	b	ウ	19	4'	h04-2	図 05	18	ウ	b	2	0		W	
BOSCOMBE ROAD	E	0	3	(a)b	イ	25	1'	h05	図 05	26	イ	(a)a	3	2		W	
CONINGHAM ROAD-1	E	1	3	b	エ	20	1'	h06-1	図 05	30	エ	b	3	0		W	
CONINGHAM ROAD-2	E	1	3	a	イ	45	4	h06-2	図 05	44	イ	a	4	0		W	
HETLEY ROAD	E	0	4	ab	ウ	20	4	h07	図 05	13	イ	b	3	0		W	
GODOLPHIN ROAD-1	E	1	4	b	エ	33	3'	h08-1	図 06	23	イ	b	4	0		W	
GODOLPHIN ROAD-2	E	0	11	(a)b(b)	イ	23	0'	h08-2	図 06	29	イ	(a)b(b)	11	0		W	
ST.STEPHEN'S ROAD-1	E	1	5	ab	エ	27	4	h09-1	図 06	33	エ	a	10	0		W	
ST.STEPHEN'S ROAD-2	E	0	7	a(a)b	イ	26	0'	h09-2	図 06	25	イ	a(a)b	8	1		W	
DEVONPORT ROAD-1	E	0	10	ab	エ	42	0'	h10-1	図 06	38	ウ	ab(b)	8	0		W	
DEVONPORT ROAD-2								h10-2	図 07	11	ウ	(a)a	3	0		W	
WARBECK ROAD	E	0	6	ba	ウ	27	4'	h11	図 07	28	ウ	ba	7	1		W	
COVERDALE ROAD	E	0	3	a	ア	7	4	h12	図 07	24	ウ	b	7	2		W	
STOWE ROAD	E	0	5	b(a)	イ	33	0'	h13	図 07	33	イ	a(a)	5	0		W	
CATHNOR ROAD	E	1	4	a	ア	39	4'	h14	図 07	40	ウ	ab(a)(b)	4	0		W	
MERINA ROAD	E	0	3	ba	イ	15	—	h15	図 07								
ELLINGHAM ROAD	E	0	1	b	ア	16	1	h16	図 07	14	ア	b	1	0		W	
LEYSFIELD ROAD	E	0	4	b	ウ	16	4	h17	図 08	4	ア	a	1	0		W	
GREENSIDE ROAD	E	1	5	ba	イ	18	4	h18	図 08	48	イ	ba	2	0		W	
WESTVILLE ROAD	E	1	5	b	イ	46	4	h19	図 08	24	ア	b	2	0		W	
DAVISVILLE ROAD	E	0	1	b	ア	29	3'	h20	図 08	39	ウ	b	2	0		W	
STATION ROAD 現STARFIELD RD	E	0	3	gb	イ	38	4'	h21	図 08	22	イ	b	3	0		W	
ORCHARD ROAD 現CURWEN RD	E	0	2	a	ア	7	4	h22	図 08	9	ア	b	2	0		W	
ASKEW ROAD-1	E	0	3	ba	イ	21	4	h23-1	図 09	32	イ	b(b)(a)	7	0		W	
ASKEW ROAD-2								h23-2	図 09	2	ア	b	1	0		W	
ASKEW ROAD-3	E	0	2	a	イ	6	—	h23-3	図 09								
GRANSDEN ROAD	E	0	1	b	ア	6	0'	h24	図 09	7	ア	b	1	0		W	
FORTESQUE ROAD 現 RYLETT CRESCENT	E	0	3	b	イ	14	—	h25	図 09								
RYLETT ROAD	E	0	5	(a)(b)ab	イ	28	1'	h26	図 09	22	イ	(a)(b)	4	0		W	
ASHCHURCH PARK VILLAS	E	0	4	(a)b	イ	11	4	h27	図 09	23	ア	b	1	0		W	
ASHCHURCH GROVE	E	0	2	b(b)	イ	15	4	h28	図 09	20	ア	b	1	0		W	

3. 住戸ファサードの分類

家並を分析するに当たっては住戸ファサードの分類を試みた。分類は階数とベースメントの有無を第1指標、壁面の形を第2指標そしてベイ窓の形を第3指標、玄関部分のデザインの基本的な構成を第4指標とし、その他はデザイン的な変化とすることを基本とした。また、側面に玄関を持つものやダブルフロント（1住戸正面に2つのベイ窓を有す）など家並端部に見られる変化形も別分類としたが、玄関とベイ窓の位置が左右入れ替わっているものは同一分類とした。なお、分類記号は階数、ベースメントの有無（B：有り、N：無し）、屋根の形（S：傾斜屋根、P：パラペット型）、壁面の形（S：四角、I その他）、番号となっている。

その結果、基本形で127種、細分類で334種となった。これを前回のKILBURN HIGH ROAD地区の89基本形、細分類で137種と比較してみると基本形では38種類多く細分類ではさらに197種類と2倍強の多さとなった。ちなみに総戸数と家並数並びに街路数は前回は1095戸、73家並、44街路で今回は2331戸、103家並、48街路である。住戸数で2倍、家並数で4割増がこの結果に影響しているものとも考えられる。分類ごとの内訳は基本形でベースメント有62(48.8% 前回は61.8%)、無64(50.4% 前回は38.2%)、壁面形では四角116(91.3% 前回は92.1%)、他11(8.7% 前回は7.9%)、屋根の形では傾斜屋根98(77.2% 前回は59.5%)、パラペット型29(22.8% 前回は40.4%)、階数では2階79(62.2% 前回は11.2%)、3階以上48(37.8% 前回は88.8%)となった。壁面形については前回とあまり変化はないが、ベースメントの有無がほぼ同数の点、屋根の形では傾斜屋根が多くパラペット型は半減している点、2階と3階の割合が逆転している点は大きく異なる。

どのようなファサードが多く用いられているかという点では、2NSS20*1が最多で53住戸に用いられているが、これは同一通り（g14）におけるものである。

複数の街路で用いられているファサードは2NSS07*1（g08, g09, g17, h04-1, h05, h16, h24, h26の8街路、14家並）、2NSS24*1（g09, g10, g14の3街路、3家並）、2NSS03*2（g05, g06の2街路、2家並）、2NSS19*3（g10, g12の2街路、4家並）2NSI03*1（h27, h28の2街路、2家並）、3NSS09*1（h07, h10-2の2街路、2家並）、3NSS11*1（h07, h10-2の2街路、4家並）、2BSS11*3（h10, h11の2街路、2家並）、2BPS03*1（h01, h02の2街路、3家並）、3BSI01*1（h08-2, h09-2の2街路、4家並）、3BSI02*1（h08-2, h09-2の2街路、4家並）、3BSI03*1（h08-2, h09-2の2街路、4家並）、3BSI04*1（h08-2, h09-2の2街路、4家並）の13種類である。

調査対象48街路の内、3街路は道路の片側だけに家並が在るが、残り45街路は両側に在り、そのうち23の街路では両側で共通するファサード形を有し、さらに2街路は両側とも同じファサードで構成され、5街路区が両側ともほぼ同じファサードで構成されている。そしてh08-2, h09-2, g10, h05, h10-1の一部、g14の一部では街路を挟んでシンメトリックな感じを有する景観となっている。

次に図-08を見てみる。図-08はファサードデザインという観点からみた街路両側の関係を示すものであり、同一街路で上下に同じ記号が並んでいるものは同一のデザインが用いられていることを示す。例えばBOSCOMBE ROAD（h05）では、4種類のデザインが北側と南側で用いられ、そのうち3種類は両側に共通していることを示しており、ASKEW CRESCENT（g03）では南北で19種類のデザインを用いているがお互いに同じものは無いことを示している。また、PERCY ROAD（h04-2）に見られる◎やB等の記号（●は除く）は複数の街路に共通するファサード形であることを示す。例えばROAD（h05）では、4種類のデザインが北側と南側で用いられ、そのうち3種類は両側に共通していることを示す。

これによると35種のファサード形が街路の両側で用いられており、1本の街路の両側で用いられているファサードデザインの共通性に着目したところ、その半数以上が共通であった街路は48街路のうち7街路であり、KILBURN HIGH ROAD地区が30街路の内15街路は言うに及ばずNORTH KENSINGTONの44街路のうちの11街路よりも低く、この地区が統一的家並デザインということの意識が余り強くないことがみてとれる。

4. 家並の分類

① 家並の構成単位

家並の構成単位の分類は前回は踏襲して以下のようにした。

- ・ a. 同じ向きで単に並べていくもの、または玄関が隣り合わないもの — 19 家並。
今回の例では WILTON ROAD WEST (E) (h01 / 図_04)等にみられた。18%がこのタイプで前回までの地域に比べて多い。
- ・ (a). 玄関が隣り合わないセミデタッチド系 — 4 家並。
今回の例では GOLD HALK ROAD (N) (g20 / 図_04)等にみられた。今回初めて設けた分類で、4%がこのタイプである。
- ・ a(a)または(a)a. 家並に a と (a)の要素をある塊で部分的に含むもの — 4 家並。
今回の例では BOSCOMBE ROAD (W) (H05 / 図_05)等にみられた。今回初めて設けた分類で、4%がこのタイプである。
a(a)と(a)aの違いは家並の中で a が主流であるものが a(a)で(a)が主であるものが(a)a と記している。
(以下同種のものは同じ)
- ・ ab または ba. 家並に a と b の要素をある塊で部分的に含むもの — 11 家並。
今回の例では GAYFORD ROAD (N) (g07 / 図_02)等にみられた。11%がこのタイプである。これまでの平均が11%であるから平均並みである。
- ・ ab(a) (b)等. 家並に a と b の要素とセミデタッチド系をある塊で部分的に含むもの — 20 家並。
今回の例では PERCY ROAD (E)&(W) (h04-1 / 図_05)等にみられた。今回初めて設けた分類で、19%がこのタイプである。
- ・ b. 鏡映しの2戸を組み合わせたもの — 45 家並。
今回は BECKLOW ROAD (N)&(S) (G09 / 図_02)等にみられた。TERRACED HOUSE の構成単位としてはもっとも基本的な形であり、これまでの調査地域では65%を占めているが、ここでも49%と最高値となっている。
- ・ (b). 鏡映しの2戸を組み合わせたセミデタッチド系 — 4 家並。
今回の例では RANKIN STREET (S) (g04 / 図_01)等にみられた。今回初めて設けた分類で、4%がこのタイプである。
- ・ b(b)または(b)b. 家並に b と (b)の要素をある塊で部分的に含むもの — 1 家並。
今回の例では FINDON ROAD (S) (g17 / 図_03)等にみられた。今回初めて設けた分類で、1%がこのタイプである。
- ・ b/e. 部分的に(b)と(e)が混在しているもの — 0 家並。
今回はみられなかった。
- ・ c. 鏡映しの2戸を組み合わせて意味の感じられる別の形を成すもの — 0 家並。
今回はみられなかった。
- ・ d. b と c を組み合わせて更に大きなパターンをなすもの — 0 家並。
今回はみられなかった。
- ・ e. b または複数の(b)と別の1戸を組み合わせて大きなパターンをなすもの — 0 家並。
今回はみられなかった。
- ・ f. b または複数の(b)と別の複数戸を組み合わせて大きなパターンをなすもの — 0 家並。
今回はみられなかった。

- ・g. デタッチド系（独立住宅）による家並 - 0家並
表においては1となっているがそれは1件しか無いので、家並とは呼べない。
- ・gb. 家並に b と g の要素をある塊で部分的に含むもの - 1家並。
今回の例では STATION ROAD (E) (H21/ 図_09) にみられ、1%あった。

表-09：家並構成単位 系列の比較

構成単位型	a	(a)	(a)a	ab	ab(a/b)	(b)	b	b(b)	g	gb
南北面系 (g系)	3	4		2	6	4	19		0	
	8%	10%	0%	5%	15%	10%	48%	0%	3%	0%
東西面系 (h系)	9		4	9	14		26	1	1	1
	14%	0%	6%	14%	22%	0%	41%	2%	0%	2%
合計	20			31		50			1	1
	18%			30%		49%			1%	1%

表-10：家並構成単位 5地区の比較 FULHAM, KENSAL GREEN, KILBURN HIGH ROAD、NORTH KENSINGTON 地区との比較

構成単位型	a	ab	b	b/e	c	d	e	f	f/ab	g	gb
FULHAM 地区	7		117		14	5	6	4			
	5%		76%		9%	3%	4%	3%			
KENSAL GREEN 地区	2		100		9	8	15	0			
	1%		75%		7%	6%	11%	0%			
KILBURN HIGH ROAD 地区	2	5	53		0	0	0	0			
	3%	8%	88%		0%	0%	0%	0%			
NORTH KENSINGTON 地区	22	11	20	1	10	0	1	3	2		
	31%	16%	29%	1%	14%	0%	1%	4%	3%		
HAMMER SMITH 地区	20	31	50							2	1
	19%	30%	48%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1%
平均	52	47	340	1	33	13	22	7	2	2	1
	10%	9%	65%	0%	6%	3%	4%	1%	0%	0%	0%

以上 16 分類のうち 10 の傾向が見られた。表-09 は街路の走る方位ごとにそれをまとめたものである。g 系 h 系共に b タイプが主であり、セミデタッチド系を含むものが次に来るなど大きな相違点はみられない。STATION ROAD (現 STARFIELD ROAD) において見られた同一デザインによる独立住宅タイプの家並はこれまでの調査では記録されておらず今回始めてみられたものである。また、(a)や(b)といった分類を新たに設けねばならないほどセミデタッチド系の住戸が目立ったのもこの地域の特色である。もう一つの特色としては表-10 に見るように HAMMER SMITH 地区では g や gb といった新しいものが見られた反面 c, d, e, f といったものが全くみられなかった点が挙げられる。

② 一連の家並に用いられるファサードデザインの種類

1つの家並に何種類のファサードデザインが用いられているのかをみたのが表-11、12である。表-11は街路の走る方位別に集計したものであるが、g系は3種類を用いた家並がこれまでの平均(表-12参照)より低く、5,6種類用いたものの割合は平均より高くなっており、h系は1,2種類を用いた家並はこれまでの平均(表12参照)より大変低いが、3,5種類用いたものの割合は平均より高く、4種類用いたものは大分高い結果となっている。

表-11：一連の家並に用いられるファサードデザインの種類 系列の比較

種類数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
南北面系(g系)	8	9	5	5	2	4	1	1	0	2	2
	21%	23%	13%	13%	5%	10%	3%	3%	0%	5%	5%
東西面系(h系)	12	10	17	11	6	1	4	2	0	2	4
	17%	14%	25%	16%	9%	1%	6%	3%	0%	3%	6%

表-12：一連の家並に用いられるファサードデザインの種類 5地区の比較

FULHAM, KENSAL GREEN, KILBURN HIGH ROAD, NORTH KENSINGTON 地区との比較

種類数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
FULHAM 地区	97	38	14	4	0	0	0	2	1	0	0
	62%	24%	9%	3%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%
KENSAL GREEN 地区	45	44	31	6	5	2	0	0	0	0	0
	34%	33%	23%	5%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	0%
KILBURN HIGH ROAD 地区	18	15	9	6	1	4	6	1	0	0	0
	30%	25%	15%	10%	2%	7%	10%	2%	0%	0%	0%
NORTH KENSINGTON 地区	36	19	14	1	0	0	1	0	2	0	0
	49%	26%	19%	1%	0%	0%	1%	0%	3%	0%	0%
HAMMER SMITH 地区	20	19	22	16	8	5	5	3	0	4	6
	19%	18%	20%	15%	7%	5%	5%	3%	0%	4%	6%
平均	216	135	90	33	14	11	12	6	3	4	6
	41%	25%	17%	6%	3%	2%	2%	1%	1%	1%	1%

前回までに報告した他地域と比較してみたのが表-12である。これまでの平均と比較すると1種類で構成される家並の割合が半分以下と極端に低く、2種類のものも低い。これに対し4種類を用いた家並の割合は10%以上高い結果となっている。また、多くの種類を用いている家並を見ると、2層系と3層系を混在させることで家並のスカイラインにアクセントをつける狙いがあるとも考えられる。

③ 家並の全体構成

次に全体の構成については、以下に示す8分類にて傾向を調べた。

表-13：家並全体構成 地域間の比較

全体構成型	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	カ'	キ
南北面系	12	18	7	0	0	2	0	0
	31%	46%	18%	0%	0%	5%	0%	0%
東西面系	16	21	7	3	0	0	0	0
	34%	45%	15%	6%	0%	0%	0%	0%

表-14：家並全体構成 4地区の比較 FULHAM, KENSAL GREEN, KILBURN HIGH ROAD、NORTH KENSINGTON 地区との比較

全体構成型	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	カ'	キ
FULHAM 地区	108	7	32	5	0	0		0
	71%	5%	21%	3%	0%	0%		0%
KENSAL GREEN 地区	63	22	14	4	20	9		2
	47%	16%	10%	3%	15%	7%		1%
KILBURN HIGH ROAD 地区	19	7	26	2	0	4	2	0
	32%	12%	43%	3%	0%	7%	3%	0%
NORTH KENSINGTON 地区	48	5	18	0	0	0	2	0
	66%	7%	25%	0%	0%	0%	3%	0%
HAMMER SMITH 地区	28	39	13	4	0	2	0	0
	33%	45%	15%	4%	0%	2%	0%	0%
平均	266	80	104	14	20	15	4	2
	53%	16%	21%	3%	4%	3%	1%	0%

(ア). (a)または(b)など単一のパターンを連続させるもの - 28家並。

今回の例では WILTON ROAD (E) (h01 / 図_04)にみられた。

(イ). 家並を数区に分けそれぞれに別のパターンを並べるもの(それぞれの群は街路等で分節されている)

- 39家並。

今回の例では KEITH GROVE (E) (h03 / 図_04)にみられた。

(ウ). 家並を数区に分けそれぞれに別のパターンを並べるもの(街路等による分節なし)

- 14家並。

今回の例では DEVONPORT ROAD (E) (h10 / 図_07)にみられた。

(エ). 家並を数区に分けそれぞれに別のパターンを並べることで家並にリズムを生み出すものや一つの形成すもの - 3家並。

今回の例では ST. STEPHENS ROAD (W) (h10 / 図_07)にみられた。

(オ). 同一デザインで構成される家並を数区に分け分節点に別のパターンを配するもの - 0家並。

今回はみられなかった。

(カ). 同一デザインで構成される家並を数区に分け分節点に別のパターンを配し、全体として象徴的な形態を形作るもの - 2家並。

今回の例では ASHCHURCH TERRACE (N) (g11 / 図_02) にみられた。

(カ'). 家並全体ではないが、道路などで分割された区画単位で (カ) の特徴が見られるもの - 2家並。

今回はみられなかった。

(キ). 複数の住戸で象徴的な形態を作りそれを連続して配置するもの - 0家並。

今回はみられなかった。

以上8分類のうち半分の4分類に該当するものがあつた。表-09は街路の走る方位ごとにそれをまとめたものである。g系h系の系別に相違点は見られないので、全体として他の地域との比較を表-10に見る。

これまでの平均との比較では (ア) に属するものが20%近く少なく、(イ) に属するものが平均の3倍と極端に多いのがこの地域の特徴となっている。

④ 街路両側の家並の関係

さて、最後にこれらの家並は道路に沿って建つわけである。以上はそれぞれの家並単独での状態を見てきたが、道路の両側に立ち並ぶ家並の関係をみていくことにする。家並の両側の関係は (0) から (4) の5分類を基本とし、それぞれに該当するものを有するが相違点もあるものを「'」の形で分類し、下に示す10分類とした。

(0). シンメトリーを感じるもの - 0街路

今回はみられなかった。

(0'). 道路で分けられた区画単位でシンメトリーを感じるものや基本的にシンメトリーであるのだが片方が延びているなどして完全なシンメトリーではないもの - 5街路

今回の例では GODOLPHIN ROAD (h08-2/ 図_06) にみられた。

(1). 単位の並び方が同じ - 1街路

今回の例では ELLINGHAM ROAD (h16/ 図_08) にみられた。

(1'). 基本的に単位の並び方が同じだが端部位において差異がみられるもの - 3街路

今回の例では BOSCOMBE REOAD (h05/ 図_05) にみられた。

(2). 同じ並び型であるが順序が逆である - 0街路

今回はみられなかった。

(2'). 大筋(2)の条件を満たすが端部に余分なものが付いている - 0街路

今回はみられなかった。

(3). 同じ構成単位であるが並べ方には関係性が見られない - 0街路

今回はみられなかった。

(3'). 両側に共通の構成単位が2種類以上含まれているが、並べ方には関係性が見られない - 3街路

今回の例では GODOLPHIN ROAD (h08-1 / 図_06) にみられた。

(4). 構成単位も異なり、関係性は見られない - 20街路

今回の例では CONINGHAM ROAD (h06-2/ 図_05) にみられた。

(4'). 両側とも複数の単位で構成されているが共通の構成単位は1種類だけある - 12街路

今回の例では CATHNOR ROAD (h14/ 図_07) にみられた。

表-15：街路両側の家並の関係 地域間の比較

地域番号 両側関係型	0	0'	1	1'	2	2'	3	3'	4	4'
南北面系(g系)	0	0	0	2	0	0	0	1	9	5
	0%	0%	0%	12%	0%	0%	0%	6%	53%	29%
東西面系(h系)	0	5	1	3	0	0	0	2	11	7
	0%	17%	3%	10%	0%	0%	0%	7%	38%	24%

表-16：街路両側の家並の関係 4地区の比較 FULHAM, KENSAL GREEN, KILBURN HIGH ROAD、NORTH KENSINGTON 地区との比較

地域番号 両側関係型	0	0'	1	1'	2	2'	3	3'	4	4'
FULHAM 地区	10		30		0		4		44	
	11%		34%		0%		5%		50%	
KENSAL GREEN 地区	13		0		1		31		20	
	20%		0%		2%		48%		31%	
KILBURN HIGH ROAD 地区	13		4		0		5		7	
	45%		14%		0%		17%		24%	
	3	10	2	2	0	0	1	4	4	3
	10%	34%	7%	7%	0%	0%	3%	14%	14%	10%
NORTH KENSINGTON 地区	1		7		1		3		15	
	4%		26%		4%		11%		56%	
	0	1	3	4	0	1	1	2	10	5
	0%	4%	11%	15%	0%	4%	4%	7%	37%	19%
HAMMER SMITH 地区	5		6		0		3		32	
	11%		13%		0%		7%		70%	
	0	5	1	5	0	0	0	3	20	12
	0%	11%	2%	11%	0%	0%	0%	7%	43%	26%
平均	42		47		2		46		118	
	19%		17%		1%		11%		53%	
	3	16	6	11	0	1	2	9	34	20
	3%	16%	6%	11%	0%	1%	2%	9%	33%	20%

以上8分類のうち6分類に該当するものがあつた。表-15は街路の走る方位ごとにそれをまとめたものである。g系は90%が(4)に属し特異な様相を呈している。これはこれまでの平均(表-16参照)から見ても特異である。h系はほぼ平均値と同じ値となっている。

この地域全体と平均との比較では(0)や(0')がやや低く、(4')がやや高い。そして(4)が平均の2倍以上高くなっている。

これまででも多くの地域で見られた傾向ではあるが、この地域は街路両側の家並の調和といったことが余り意識されていない地域といえる。

5. まとめ

今回調査対象とした HAMMER SMITH 地区は図-01 にみるように再開発された部分はあるものの、比較的多くの TERRACED HOUSE の家並が残っている。家並構成単位のところでも触れたがセミデタッチド系の住戸が多いこと、その中では ST. STEPHANS ROAD (h09) や RYLET ROAD (h26) に見られるようにこれまで似ない特異なデザインも見られた。また、ST. STEPHANS ROAD (h09-2)、DEVONPORT ROAD (h10-1)、STOW ROAD (h13) の南端に近い部分では特異なファサードデザインが多い上に、街路両側でシンメトリーな構成となっていることは、このエリアが南北を GOLD HALK ROAD と SCOTT ROAD に挟まれ隣り合っていることから地帯的な特異性を意図したデザインであることが窺われる。

その他この地域を特徴付ける点としては、建物の地上階数としては2階建てが多く、屋根の形としては傾斜屋根が多くパラペット型が少ないことである。

参考文献

- 1) Stefan Muthesius THE ENGLISH TERRACED HOUSE 1982, Yale University
- 2) Doreen Yarwood DOREEN YARWOOD ENCYCLOPEDIA OF ARCHITECTURE 1985, B. T. Batsford Ltd
- 3) Edward Jones & Christopher Woodward THIRD EDITION A GUIDE TO THE ARCHITECTURE OF LONDON 2000, Seven Dials, Cassell & Co
- 4) James Stevens Curl A DICTIONARY OF ARCHITECTURE 1999, Oxford University Press
- 5) Cyril M. Harris DICTIONARY OF ARCHITECTURE AND CONSTRUCTION 1975, McGraw-Hill, Inc.
- 6) Alan Godfrey Edition OLD ORDNANCE SURVEY MAPS
36:Willesden Green 1893
37:Swiss Cottage 1894
- 7) Elizabeth McKellar THE BIRTH OF MODERN LONDON 1999, Manchester University Press

